



ムダ遣い  
やめて!!

小さな庁舎で大きな福祉の近江八幡市へ

2017年5月 発刊 No.6

市民が考える庁舎の会

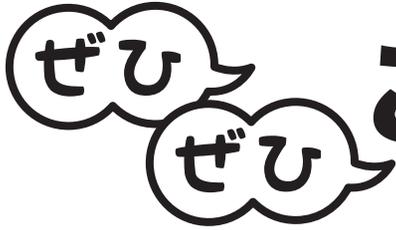
近江八幡市小船木 778-7

連絡先 小西理 090-3620-9612

# 市民が考える庁舎の会

ムダ使いの「95億円庁舎」いったん立ち止まって考え直そう

## 1万筆署名の成功に



## ご協力下さい!!

6月1日まで

朝9時過ぎに事務所を開けると、まもなく一人また一人と署名簿の入った透明袋をもって、市民が来て下さる。5月の後半に入ってから連日そういう日が続いている。

署名の開始が新聞に載った5月2日、元市議（議長経験者）、元教育委員の女性、元某大学教授、元県女性団体役員から、相次いで激励の電話がかかってきた。5月半ばで400人を超えた受任者の皆さんは、「署名をお願いして断られることがほとんどない」と異口同音に話されている。

住民投票請求署名は一ヶ月の短期決戦。中盤現在、受任者を広げに広げ、署名を置いて帰る訪問を展開している。いわばここまで、種をまいて育ててきたのだ。いよいよ刈り取りの時が来た。受任者から署名の回収を急がねば1日の夜まで、知恵を絞って一筆でも多く署名を積み上げよう。

代表請求人 小西理 檜山秋彦 福本幸夫

# 4000筆突破!

## 95億円の庁舎の是非を問う署名運動

署名に思いを託し

### 大きな福祉を求める

### 声声声

「95億円も使うなら道路を良くしてほしい」「保育所に入れませんでした。共稼ぎで大変です。保育所をつくってほしい」「補助金削られ運営が大変。元にもどしてほしい」などの無数の声が、署名の向こうから返ってきています。富士谷市長が、開発優先の不動産行政で市政に著しいゆがみをつくりだしてきた結果なのです。

署名は力!! 署名活動の成功を!

会は、10,000筆の署名を目標にしています。有権者の15%にあたります。

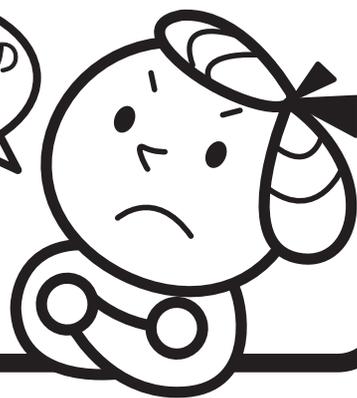
この署名を市長に提出、市長は自分の意見を添えて議会に住民投票条例案を提案します。いまや市民には「95億円の庁舎建設」は無謀に近い計画と映っています。議会が条例を議決するよう署名活動を成功させましょう。市民の皆さん、6月1日までの署名にご協力をお願いします。



新庁舎建設計画 計画の破綻明らか

# 住民投票で市民の判断を 仰ぐことが唯一の解決方法

まさに税金の  
ムダ使い!



現庁舎敷地に建設の新庁舎は、はなからぼろぼろの計画です。病院跡地に建設すれば50億円程度で、しかも平地駐車場安心して利用できる庁舎が建設できるのです。市民だれもが納得できるものです。

ただ一人市長が、病院跡地を民間誘致で再開発する本音を隠すために、「にぎわい・交流」という気炎をあげて市民を煙に巻いたのです。

今や、「使いにくく危険」という立体駐車場・地下駐車場の変更を口にしてしています。

肝心の病院跡地への商業施設誘致の見込みはなく、「にぎわい・交流」構想も画餅に帰す状況です。市民が「行政サービス」の充実を求めているのに、ひまわり館や安土支所を廃止。その上「ギャラリーと喫茶の庁舎」とは、開いた口が塞がりません。

95億円は全くのムダ使いです。それでも建設を強行するならば、法律に基づいての住民投票で市民に判断を仰ぐより他ありません。計画のズサンさと市民の世論の前に、土俵際に追い込まれている「95億円庁舎建設」です。

## 建設費半分で市民の暮らし優先へ



ひまわり館、安土支所の有効活用は、建設費の半減、地域振興、福祉の充実など、市民にとって歓迎することばかりです。財政的にも約50億円の余裕が生まれ、保育園の建設など待機児童解消やすべての子ども（中学3年まで）の医療費無料化も実現できます。また、子ども会、老人会、スポーツ団体などの各団体への補助金の復活や増額が可能となります。民間の保育園補助金や学童保育所の補助金の増額につながります。

### 「わたしも署名集めたるで！」という方を募集しています



住民投票条例制定にむけてご協力してくださる方を募っています。ご連絡いただければ署名用紙をお届けいたします。

庁舎の会事務所 (JA 岡山カントリー南隣)

090-3620-9612

ご連絡お待ち  
しています



「市民が考える庁舎の会」はみなさまのカンパによって支えられています。なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。